

2019年6月19日

各位

株式会社 紀陽銀行

地方創生事業「Trip Base 道の駅プロジェクト」への参画について

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、地方創生事業「Trip Base 道の駅プロジェクト」（以下、本プロジェクト）にて6府県15施設のホテルを開発する「合同会社ニューツーリズム・トリップベース1号」と匿名組合契約を締結し、本日、出資（1億円）をおこないましたのでお知らせいたします。

「合同会社ニューツーリズム・トリップベース1号」は、積水ハウス株式会社および当行を含む金融機関、事業法人を中心とする11団体からの出資を受け組成したSPC（特別目的会社）であり、本プロジェクトのホテル開発をおこなう合同会社です。

本プロジェクトは、積水ハウス株式会社とマリオット・インターナショナルが国内の各自治体と連携し、地方創生と道の駅事業との共存共栄を基本コンセプトとして、全国の道の駅に宿泊拠点を展開する事業です。本プロジェクトの第一弾として、6府県（栃木・岐阜・三重・京都・和歌山・奈良）において15カ所約1,000室の規模でロードサイド型ホテルをオープンし、順次全国展開する予定です。

当行の営業エリアである和歌山県においては、2020年秋以降にすさみ町と串本町の道の駅隣接地に宿泊施設が建設される予定であり、一層の観光客誘致が期待できます。

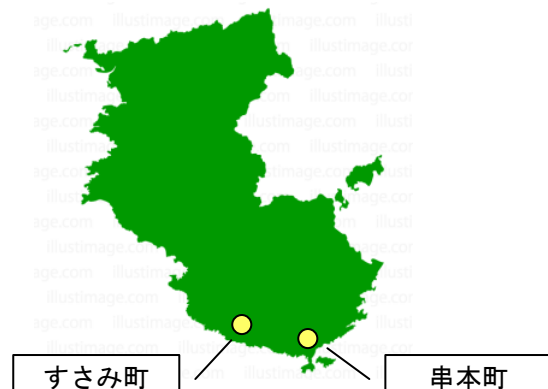
紀陽銀行は、本プロジェクトへの参画により、外国人観光客の増加等による宿泊施設の不足等、地域が抱える課題の解決や観光産業の支援に取り組むことで、地域経済の活性化に一層貢献してまいります。

<和歌山県の開業予定地一覧>

市町村	近接道の駅	室数	概要	宿泊プラン
すさみ町	すさみ	88	延床:4,300㎡、階数7階	宿泊特化型（食事やお土産は道の駅や地域のお店をご利用いただき、地元コミュニティと協働しながら地域とのふれあいを最大化）
串本町	くしもと橋杭岩	90	延床:3,700㎡、階数7階	



（宿泊施設イメージ）



以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」につながる取り組みです。

